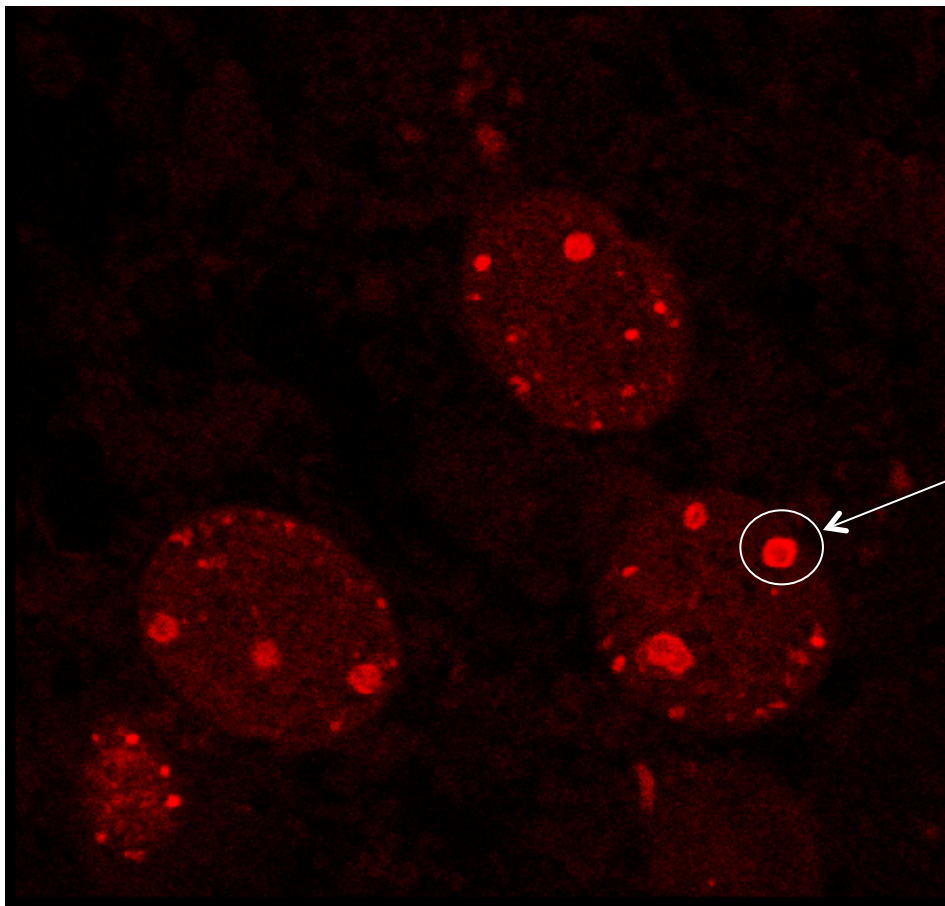


進行性多巣性白質脳症のPML-NBs

研究分担者: 杏林大学医学部病理学教室 丸戸-原 由紀子



PML-NBs
2-D: リング状
3-D: 球状殻

共焦点レーザー顕微鏡(Leica TCS-SP)による観察

解 説

1. 進行性多巣性白質脳症において、グリア細胞の腫大核ではPML-NBsが直径1ミクロンを越える三次元では球状殻、二次元ではリング状の形態を示すことが明らかになった。
2. 超解像蛍光顕微鏡で観察すると(N-SIM)、PML-NBsは幅300-400 nm、最外径1.2ミクロンの球状殻の形態をしていた。
3. JCウイルス capsid 蛋白は、球状殻PML-NBsのやや外側に局在し、ここ活発に子ウイルスを複製していると考えられた。